

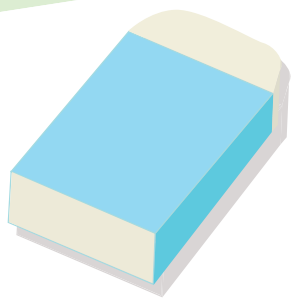
DMC SHOP

mono note

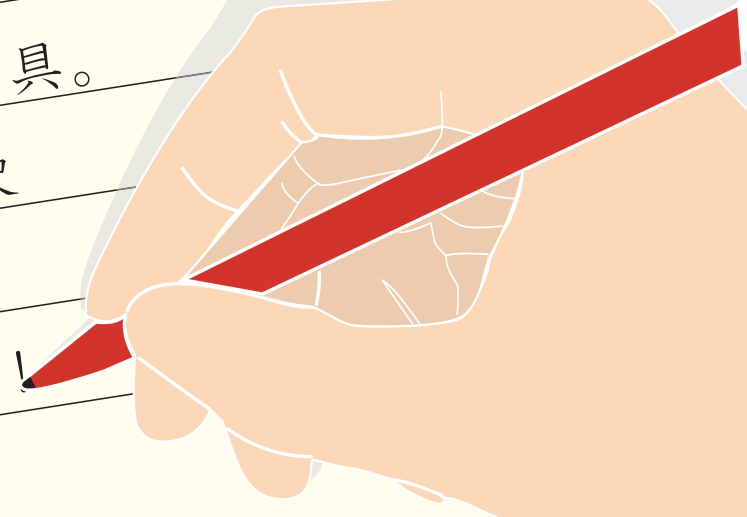
vol.4

文房具の歴史





パソコンが普及して、なかなか文字を
書く事が少なくなったとはいえ、
やっぱり必要な文房具。
そんな文房具の歴史
をちょっと、
覗いてみましょう！



<鉛筆と消しゴム>

日本の鉛筆の定番！懐かしの鉛筆



コーリン鉛筆 各 ¥20 (税込)

1564年、イギリスのボロデールという鉱山で、良質の黒鉛が発見されました。

その黒鉛で文字を書いてみると、とてもハッキリと書く事ができ、また紙にもよく馴染んだ事から、それ以降文字を書く道具、つまり鉛筆として使われるようになりました。

最初は、そのまま黒鉛を素手で持って使って

いたそうですが、あまりにも手が汚れてしまうことから、木に挟んだり、布を巻いたりと改良が進み、今の様な形になったそうです。その鉛筆の誕生と同時に、開発されたのが消しゴム。最初は小麦パンを使って文字を消していたそうですが、後にイギリスの化学者が、天然ゴムで文字が消せる事を発見し、今の様な消しゴムが生まれました。



**マンモス消しゴム
¥50 (税込)**



**昭和レトロ鉛筆
各 ¥50 (税込)**

<シャープペンシル>

1822年、イギリスで最初の繰り出し式ペンシルが発明され、後1838年にアメリカで、複動式のエバーシャープという名前のシャープペンシルを発表。これが実用的な筆記用具として使われ始

北欧発！



**バログラフ シャープペンシル
各 ¥840 (税込)**

めました。

日本に初めてシャープペンシルが輸入されたのは、1877年。その後1915年に現在のシャープ株式会社が国内の製造を始めました。

しかし当時の芯は 1mm か 1.5mm と太めで、芯の長さも 30mm と短め。あまり実用的でなかったとか。

そんな中 1960 年に、現在のぺんてる株式会社によって新しく開発された芯によって、現在の 0.5mm や、製図用の 0.3mm などが誕生しました。

ちなみに、なぜ日本では 0.5mm が主流なのか。

これは、画数の多い漢字などを書くのに、使いやすい太さだからだそうです。

**繰り出し式、太さ 0.9 mm で長さは 35 mm の芯
まさしく初期のシャープペンシル！**



**オートポイント シャープペンシル
各 ¥840 (税込)**

<ボールペン>

ボールペンの歴史は意外にも浅く、1943年にハンガリーで考案されました。ただし、書き味の改良やインク漏れを完全になくなるまでに、それから7～8年以上かかったそうです。

その後、1949年アメリカはオート社が鉛筆形のボールペンを発表。

2年後には、現在とほぼ同じ実用型のボールペンを発売したそうです。

**手軽にガシガシ使うなら
bic ボールペン 各 ¥60 (税込)**



**ボールペン発祥の地！
ハンガリー生まれの ICO シリーズ**



**ICO ボールペン
各 ¥315 (税込)**

日本に入って来たのは、終戦の年の 1945 年。
アメリカの進駐軍の影響で使われ始めました。
また 1982 年には、サクラクレパスが水性ジェ
ルインクを開発した事から、

各社からジェルボールペンが発売されました。
ちなみに、現在ボールペンの製造技術は、ダ
ントツ日本が他国を大きく引き離している、
とか。



**バログラフ ボールペン
各 ¥714 (税込)**

しかしこうしてみると、開発は海外でも、その後の改良や技術の発展に一躍かっているのは日本人だった、っていうのがわかりますね。

なんだか使わなきゃもったいない気がしちゃいます。

今では、どんな所でも手軽に手に入る様にまでなった文房具。

今後は一体、どんな文房具が登場してくるのか、楽しみですよね。

ちなみに、新しい事を始める時、気分をちょっと変えたい時に、文房具を新調してしまうのは、私だけでしょうか？

今回、ここで掲載されております文房具は全て、DMC SHOP にて取り扱っております。

たまにはパソコンから離れて、紙とペンで文字を書いてみませんか？

DMC SHOP

呉市広古新開 2-7-8 Cafe' Bleu 隣（カフェ後方のドアよりご来店いただけます。）

営業時間 10時～19時 定休日 火曜日

今回掲載されている文房具以外にも、
インテリア雑貨や家具など取り揃えておりますので、ぜひお立ち寄りください。